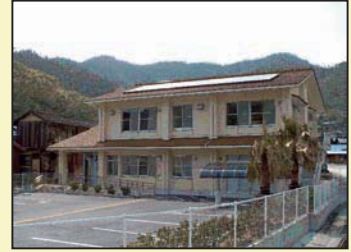


## ～市町村合併に伴い、学習活動の拠点を整備～

### ○市町村合併特例債の活用（広島県福山市）

広島県福山市では、平成15年2月（旧沼隈郡内海町・旧芦品郡新市町）平成17年2月（旧沼隈郡沼隈町）の市町村合併に伴い、地域住民の学習・文化・スポーツ活動が発展するように、新たに、山南公民館と内浦公民館が設置された。



## ～地方財源が厳しい中、既存施設を活用～

### ○廃校の利用（石川県七尾市）

石川県七尾市では、平成16年4月の小学校の統廃合により、数校の小学校が空き校舎となった。それらの空き校舎を改修して、相馬公民館、金ヶ崎公民館、鉦打公民館、豊川公民館として、スタートをきり、地域住民の新たな生涯学習拠点として活用されている。



### ○空き教室の活用（栃木県小山市）

小山市中央公民館では、近隣にある小山第一小学校の空き教室を活用して、公民館の研修室として「地域ふれあい学習室」が設置されている。

同小学校の空き教室は、この学習室のほか、デイサービスセンター、放課後児童クラブの施設としても使用されている。



## ～地域と一体となったベルマーク運動～

### ○ベルマーク運動に参加（埼玉県蕨市）

蕨市東公民館では、(財)ベルマーク教育助成財団が進めているベルマーク運動の参加団体が平成18年4月より公民館・大学にも拡大されたことに伴い、ベルマーク運動が積極的に実施されている。

同公民館では、ベルマーク回収箱を児童館や高齢者向け施設など5ヶ所に設置するだけでなく、公民館主催の生涯学習フェスティバルで「ベルマーク運動の展示・啓発」コーナーを設置するなど、地域住民に対して同運動の積極的な広報活動がされている。



©(財)ベルマーク教育助成財団